

科目名	企画科目（グリーフケア）	学期	後期	単位数	2	担当者	森崎雅好
授業の到達目標及びテーマ 到達目標： 喪失体験へのケアについての専門知識を身につけ、ケアの態度を学ぶ。 テーマ： グリーフケアに関する知見を深める。							
授業の概要 グリーフ（grief）とは悲嘆を意味します。この悲嘆を受け入れる作業をグリーフワークと言い、グリーフケアとはその作業を支援することです。本講義では、心理学的観点からケアの姿勢の在り方を学びます。							
授業計画 1. 悲嘆反応とケアについて 概論 2. 死と死別について 3. 犯罪被害と複雑性悲嘆（1） 4. 犯罪被害と複雑性悲嘆（2） 5. 犯罪被害と複雑性悲嘆（3） 6. 自殺と自死遺族支援（1） 7. 自殺と自死遺族支援（2） 8. 自殺と自死遺族支援（3） 9. 緩和ケア（1） 10. 緩和ケア（2） 11. 緩和ケア（3） 12. 災害による喪失のケア（1） 13. 災害による喪失のケア（2） 14. 災害による喪失のケア（3） 15. まとめ：ケアの本質							
テキスト 講師作成資料を配布する。							
参考書・参考資料等 ラファエル,B（. 著）石丸正(訳『 災害の起こるとき カタストロフィーの精神医学』みすず書房、1989 年 他は授業中に紹介する。							
学生に対する評価 期末試験（100％）							
養成をめざす力 自主性、想像力、道徳性							
その他 悲嘆の支援は、支援者自身の「いのち存在」への姿勢が問われます。すなわち、自身の間人観、人生観、死生観を認識することが求められます。常に自と他の「いのち」について考えながら講義に臨んでください。							